

山梨県

農業法人たとみ農園株式会社 スマート農業を取り入れながら地域活性化に貢献

● 参入のきっかけ・目的

- ・ 親会社は印刷業を営む会社。一年草で紙が作れないか挑戦するため、県や市に相談したところ、農業体験から始めることを提案されました。
- ・ 農業体験の中で生産者の高齢化問題を知り、近隣農家からの農地の引受依頼もあったことからグループ会社を立ち上げ参入することにしました。

● 参入地域（土地）を選んだ理由

- ・ 栽培技術の指導を地元（中央市）の農事組合法人から受けており、その法人の構成員から農地の引受依頼があり、また、中央市の農業委員会から農地のあっせんを受けることができたため、本地域での参入を決めました。

● 主な販路

- ・ 米穀販売業者から委託されて栽培しています。

● 本業との相乗効果

- ・ 印刷業と農業の双方で、CO2の循環と地域活動を考えています。
- ・ 農業に取り組んでいることで印刷業のイメージアップになっています。

農業体験風景



アドヴォネクト・たとみ農園が考える循環



● 自治体等からの支援

- ・ 農地の借入れは、すべて農地バンク経由としており契約・賃料支払い等の負担軽減になっています。
- ・ 中央市と「れんげ米プロジェクト」（休耕田にれんげを植えて漉き込むことで緑肥として活用するもの）を進めています。

● 参入して苦労したこと

- ・ 当初は農業経験が少ないため、天候等の影響がわからず苦労したが、周囲の農家の人に助けられました。

● 参入した成果

- ・ スマート農業（ドローンによる防除と追肥）を導入することで地域の農地を引き受けることができ、県内一のサポート事業者となることができました。

● 今後の展望

- ・ ドローン防除の受託面積を増やしていきたいです。
- ・ 生産量が増加し利益が上がる農業をうまく見せることで若い農業者が増え地域が活性化する姿を目指していきます。

● 詳しい情報はこちら（会社HP）

[農業法人たとみ農園株式会社－増加する耕作放棄地を活用した、たとみ農園の美味しいお米はいかがですか](#)

★ 概要 ★

法人設立：2011年
栽培作物：米

経営面積：約 8 ha（作業受託約60ha）
職 員： 3 名

田んぼに咲くれんげ



AIを活用したドローン

